

オープニング

ある社長と一緒にタクシーで移動していたときのことです。

タクシートの運転手が返事も無愛想だし、運転も荒いし、感じの悪い人でした。

そうするとその社長はまだ目的地に全然着いていないのに、「もういいです。ここで降ります」と言ってタクシーを乗り換えました。

僕にとってはものすごく衝撃的で、「1回乗ったタクシーをまだ目的地に着いていないにもかかわらず降りるなんてもったいない！ 普通我慢して目的地まで乗るでしょ！」と思いましたが、2台目のタクシーでは気持ちよく移動することができました。

その社長から学んだことは「人生で我慢はしない」ということでした。

我慢と忍耐という言葉があります。

忍耐とは何か手に入れたいものがあつて、それを手に入れるために苦しいことに耐えること。

我慢とは他者からの評価を気にして、本当はやりたいことを抑え込むこと。

僕はそれまでの人生で、この2つの言葉の違いを明確に理解していませんでした。人の悪口ばかりで帰りたい飲み会でも、ここで帰ると空気が読めない奴だと思われそうなのが嫌で、帰らずに最後まで付き合ったり、相手の嫌なところがあつても、注意して関係がギクシャクするのは嫌だなあと、その人に伝えることを我慢していました。

「そうか、我慢は人生でしなくていいんだ」

そう思うと、帰りたい飲み会では帰りますし、相手に言うべきことを伝えるようになりました。ストレスのせいなのか、もともと孤独を感じやすかったのですが、孤独を感じる

ことはなくなりました。

僕は大学卒業と同時に独立しました。現役で京都大学に入学し、数社だけ受けてみた就職活動でもすべて内定をもらった僕は「仕事なんて頑張れば余裕やん」と思っていました。が、半年間売上が0でした。まったく売上が上がらず、なぜ売れないのか？ もまったくわからないまま時間だけが過ぎた結果、自分の脳みそはポンコツなんだと気づきました。

そこから、僕はビジネスで結果を出している人、人生を本当に楽しんでいる人から徹底的に考え方と行動を盗み、ひたすら真似を繰り返しました。

そうすると気づいたら年収が5倍に増えました（正直もともとの年収が低いというオチもあります・笑）。この本は僕が出会ってきた人生を最高に楽しみ、且つ結果を出している人の基準をどう学び、僕自身何が変わったのか？ を書いた本です。

僕自身、人との出会いによって自分の常識には存在しない価値観や言動に触れて、人生が変わりました。そんな話を僕が書きたいように書いた本です。
手に取ってくださってありがとうございます。